



気が付けば今年も半年が過ぎてしまいました。決してウダウダと過ごしているワケではないのですが、本当に時間は早く過ぎていきますね。後悔しないよう、もっとジムニーで遊ぶぞ!

文／今 修 写真／ K-PRODUCTS

グアムレースの結果

4月15日～17日の3日間に亘り、グアムで行われた『2016 Smokin' Wheels GUAM』にK-pro サポートライダーの結城大策が出場して、クラス3位入賞を果たしました!

前日の予選でフロントホーシングを曲げてしまい、決勝を走ることすら危ぶまれました。そこで彼は4WD 走行を諦めて、2WDのまま決勝を走り、何とか3位に食い込むことができたのです。本人は曲がったホーシングをこれ以上曲げないようにスピードを殺し、ただ完走だけを目指して走った3時間の耐久レースだったと思います。

小さい穴でも極力避けて、速度を加減しながら走る。当然ながら元気の良いマシンにはバンバン追い抜かれて、バトルすることも出来ない…。本人は口には出してないけど屈辱だったと思います。でも、レースは全て自己責任、ホーシングを曲げたのも本人なので仕方がない。とは言え、2WD状態でクラス3位は上出来だったと思っています。本人もまだ若いし、良い経験だったと思います。今後一皮も二皮も向けて、さらに頑張ってほしいと願っています。本人が体重を落とせばホーシングも曲がりやすくなると思うけどなあ～(笑)。

ちなみに、クラス優勝はJB33のNOBLEさん。Smokin' Wheelsでのクラス優勝は

今回で2回目ですね～。実に素晴らしい! そんなこんなの『2016 Smokin' Wheels GUAM』でした!

肝心なパーツが在庫切れ!

『2016 Smokin' Wheels GUAM』の次は『ALL JAPAN AES ダートバトル 第2戦 in 信州大町』です。開催日は5月29日だけど、グアムからクルマが帰ってくるのは5月中頃。結城君のマシンはそれからの修理で間に合うのかなあ??? やってみたいけれどわからないけど、不安でいっぱい…。

そしてクルマは5月15日にGUAMから帰ってきました。結城君が引き取りに行ったけど、K-proまで持ってくる時間がないために、修理作業は本人がすることに…。大丈夫かなあ?



なんとか応急処置はしたものの、攻めた走りはできず。完走を心掛け、3時間我慢の走り続けた。これでまた精神的に成長したことでしょう。



Smokin' Wheelsの予選は走り終えた結城君のJB43。フロントホーシングが曲がって、タイヤがハの字になっている…。

結城君は、早速翌晩から作業開始。ホーシングをバラして壊れている箇所を確認したという。それから電話で連絡を取りながら、当店で壊れている部品と怪しい部品を手配した。これで間に合いそうだ! と思いきや、ハプニング発生。なんとJB43/33用ホーシングの在庫がメーカーにないのです! 聞くところによると6月中旬とか…。

こうなったら中古しかないので、部品商に連絡したのだが、中古も在庫なし…。いよいよ切羽詰まってきました。「あ! ネットで探してみるか!」と検索したが、なんとネットでも見あたらないのだ。

「困った…。マジで今回はどうにもならない…。」そんなテンションで自宅に帰り、どうしたらよいのか、大好きなカルピスを飲みながら考えたがいい知恵が浮かびません。

そんな落ち込んだ状況下で、何気なくガレージの横を通った時、あるモノが目に入ってきました。「おお～、こんなところにJB43



ゴールドゼッケンの佐藤選手。思い切りよい走りが身上だが、今回もめちゃくちゃ攻めた走りを披露。「恐怖」ということを知らないのかな? (笑)

があるじゃないか!」。常連の〇〇さんから修理で預かっていたJB43が目止まったのです。修理は急いでいないので完成は年内いっぱいでも良いって事なので本社のガレージに保管していたのを忘れていました。早速〇〇さんに事情を話したところ〇〇さん:「結城君のためだったら使ってください。でもあのホーシングはある実験の最中なので補強はしていませんよ?」俺:「はい! 曲げないと思いますので…ありがとう御座います、ではお借りします」これで何とか5月29日のレースに間に合いそうだあ～!

1年半ぶりに祝杯

ドタバタしたけれど、結城君のマシンは100%の状態ではないもののAES ダートバトル第2戦に間に合いました。しかし、完璧ではないので4時間走れるか不安が残ります。自分も久しぶりのエントリーです。マシンが仕上がらなかったため、1年半もの間レースを休んでいたのですが、今回のAES ダートバトル第2戦からまた参戦することになりました。久しぶりなのでちょっと緊張気味。でもレース前のこの緊張が、何とも心地良いのです。

今回の参加台数は17台で、スタートグリッドは第1戦の成績順に並ぶ。前にはシード選手が並んでいて、先頭は第1戦優勝のdark horseさんだ。今年からteamを組み、今回は4台で参戦してきた。ちなみに第1戦は1位、3位と好成績を残している。今回もマシンは好調な感じ。

スタートフラッグが振られて一斉にスタート! 大会特別規則上、単独ドライバーはペナルティーとして1分30秒ピットに停止しなければならない。自分は単独ドライバーなので、このペナルティーに該当するが、どの時点でピットに停止するかも順位に大きく左右される。

今回自分は10番手なので、全体の真ん中よりもちょい後ろ。スタート直後は団子状態で走っているため、先頭以外は砂埃で前が全く見えない。何週か走ると全体に車両がバラけるので、砂埃はあるものの前は見えやすくなるから、スタート直後にピットインして1分30秒停止する作戦です。

自分が停止している間に先頭車両の周回数を数えていると3週の差がついていた。



今年から参戦し始めた新保選手。遠いところから有難う御座います。競技歴が長いだけあって、さすがのドラテクでした。



やっと修理が終わり、1年半ぶりに走らせた俺のレース用マシン。これからのレースで、今まで乗れなかった悔しさを爆発させるぞ!



1年半ぶりにレース参戦した俺。嬉しさと緊張で、何とも表現しにくい感情を抱きました。やっぱりジムニーで競技するのは、スグ〜楽しい!

さらに1分30秒経過しても、走っている車両が途切れないとコース内に入れてもらえない…。これはちょっと誤算でしたね。

今回自分が乗るレースカーには先日発売した『NewタービンHD-15T』が取り付けられています。何度もダートコースでテストし改良し完成品としていくのですが、やはり最後の最後は実際のレースで何度か使ってみないと安心できません。自分にとってレースは、商品開発のテストとしては最高の場所でもあるのです。しかも耐久レースなので数時間走りっぱなし。エンジンは勿論のこと、すべての部分に相当な負担をかけて走っている。耐久レースは商品のテスト条件が全てそろっているのです。

レース開始から1時間経過すると、横転車や故障車が出始めてきました。自分の車両は油温、水温などその他の部分も安定している状態で調子はいい。そこでレース後半は1速低いギアを使うという無謀な運転を試してみました。やはり油温も水温も上がってくる、当然の事ですがこんな運転を続けていると、どんなものでも壊してしまいが…。今回は足廻りをガラッと変更し、さらにDBレーシングの小野さんから聞いた裏技的なメニューを追加してみたところ、これが物の見事にドンピシャ! 非常にドライブしやすくなったのです。

そんなこんなので、4時間耐久レースを楽しんだ結果、なんと優勝を果たしました! ありがとうございます<(_ _)>。

Newタービンの『HD-15T』ですが、4時間走っても最後まで絶好調でした! これですらに自信を持ってオススメできます。

なお2位はdark horse・辻本博さん、3位はK-products・佐藤英さんという結果になりました。

M・C・Jの参加者募集!

AES ダートバトル第2戦が終わったら1週間後に当店が主催する『M・C・J 2016 第2戦』の開催なので、息つく暇がありません。ちなみにM・C・JはMost Clever Jimnistの頭文字をとったもので、【最も賢いJimnist】と言う意味。その名の通り、ドラテクに加えて精神面の強さや賢さが要求されるレースです。

競技はトライアルセクションとダートセクション、それぞれを3～4セクション走ってポイントを競い合います。各セクションの上位から大きいポイントが与えられ、合計ポイントが多い選手が優勝者となります。

この競技の難しいところはトライアルとダートの両方を走るのも、どちらのテクニックも必要となること。クルマに関してもどちらかに片寄ったチューニングをされていると、もう一方が走りにくくなります。簡単に言うと、クルマの性能ばかりに頼れないのです。

このM・C・Jシリーズ戦は、今年で3年目を迎えましたが、現在まで七連勝している選手がいます。2年連続でシリーズチャンピオンに輝いた嶋貫選手です。

彼はトライアル・ダートともに素晴らしい運転技術を持っています。今年もまた彼がシリーズ優勝して賞金の10万円を持っていくのかなあ? 嶋貫選手と真っ向勝負してみたいという人はいませんか? 腕自慢のエントリーお待ちしております

M・C・Jシリーズ戦は今年で3年目を迎えました。ビギナークラスもありますし、特に改造されたクルマは必要なく、気軽に競技を楽しめますよ! 勝ち負け云々ではなく、とにかく競技に興味のある方のエントリーも大募集しています。そんなM・C・J 2016 第2戦の様子は次号で!